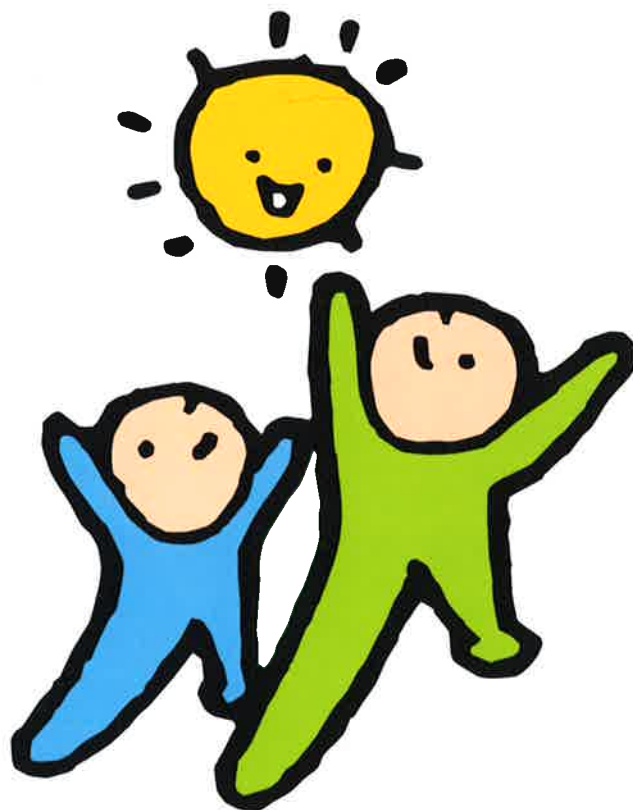


**第31回
自由民主党
和歌山県支部連合会大会**



平成28年4月10日(日) JAビル

自由民主党和歌山県支部連合会

党歌・われら

作 詞 岩谷時子

作曲・編曲 山本直純

Allegro con brio



われらのくにに われらはいきて われら



は つくる われらのじゆう つきひの ながれ



を いつもみつめて きょう より あすへみち



を ひらこう ひとりのしあわ せみな のしあわ



せ 2.われせみな のし あわ せ -

一、

われらの国に

われらは生きて

われらは創る

われらの自由

月日の流れを

いつも見つめて

今日より明日へ

道を拓こう

一人の幸福

皆の幸福

二、

われらの愛する

われらの子らへ

われらは遺す

われらの心

すぐれた昔の

文化を伝え

この日の息吹

深く刻もう

一人の幸福

皆の幸福

三、

われらの山も

われらの海も

われらの宝

われらのいのち

明るく輝く

地球の上で

世界の平和

きつと守ろう

一人の幸福

皆の幸福

皆の幸福

目 次

大会次第	2
党情報報告	3
会計監査報告	6
活動方針(案)	7
決 議(案)	10
各種選挙における公認・推薦候補者 当選者	11
表彰者名簿	14

大 会 次 第

- 一、開 会
- 一、国 歌 齐 唱
- 一、党 歌 齐 唱
- 一、資 格 審 查 報 告
- 一、会 長 挨 拶
- 一、表 彰
- 一、来 賓 挨 拶
- 一、国 会 議 員 挨 拶
- 一、参 議 院 選 挙 決 意 表 明
- 一、議 長 团 選 出
- 一、議 事
 - ① 党 情 報 告
 - ② 会 計 監 查 報 告
 - ③ 活 動 方 針
 - ④ 役 員 改 選
 - ⑤ 決 議
- 一、万 歲 三 唱
- 一、閉 会

党 情 報 告

第 31 回自由民主党和歌山県連大会にあたり、ご出席賜りましたご来賓各位を始め県連役員並びに代議員の皆様、心から御礼申し上げます。

前回、平成 26 年 4 月の県連大会は、新しい和歌山を創るために知事選挙、和歌山市長選挙そして統一地方選挙などあらゆる選挙の勝利を目指した大会でありました。政治をさらに安定させ、実行性のある政治を遂行するため、謙虚で真摯な政治姿勢により、地域の声に全力で応えることを誓い合いました。

その年の 11 月 21 日に衆議院が解散、第 47 回衆議院総選挙が 12 月 14 日に行われました。

わが党は、「景気回復この道しかない。」と訴え、経済政策をさらに強力に推進し、景気回復の実感を全国津々浦々まで届ける決意で総力をあげて戦い抜きました。

その結果、わが党は、291 議席を獲得し、友党の公明党とあわせて 326 議席を得て、総議席の 3 分の 2 以上を占めることができました。

和歌山県におきましても、三区では、二階俊博氏が圧勝で 11 期目の当選を果たし、二区の石田真敏氏は、順調に 6 期目の当選でした。一区の門博文氏は、奮闘し、比例当選で議席を守りました。

前回の県連大会で勝利を誓った、平成 26 年 11 月 30 日投票の知事選挙では、推薦の仁坂吉伸知事が 3 期目の当選、同年 8 月 10 日投票の和歌山市長選挙においては、推薦の尾花正啓氏が初当選し、新しい和歌山市長が誕生しました。

昨年 4 月の統一地方選挙をはじめ各種選挙におきましても、非常に厳しい選挙でありましたが、公認・推薦の候補者をはじめ、関係者皆様のご努力によりまして、良い結果となり大変嬉しく思っております。これからも公認・推薦候補を大勢擁立させたいと考えております。

これもひとえに、本日までご出席の皆様のご尽力のお陰と改めて感謝申し上げます。

それでは、平成26年4月以降の主な党情について簡潔にご報告いたします。

最初に、県内の選挙における公認・推薦候補の当選者についてであります。厳しい選挙を勝ち抜かれました当選者の皆様には、ふるさと和歌山発展のため、今後益々のご活躍を期待しております。

当選者の氏名は、資料11～13頁に記載しております。

平成27年9月8日に、総裁選挙が告示され、候補者は安倍晋三衆議院議員のみでありました。結果、安倍晋三衆議院議員が自民党総裁に選任されました。

平成27年7月11日、和歌山市内で第14回政経文化パーティーを開催させて頂きました。県内各地より、経済界、各種団体の皆様、党員・党友約1500名のご出席を頂き、防災担当大臣の山谷えり子参議院議員が講演。

和歌山の強靱化と地方創生の推進を大きく掲げました。また、皆様方からの貴重な浄財は、有効に政治活動に活かして参ります。ご協力に感謝申し上げます。

平成26年9月13日田辺市のホテルにおきまして、県連に新しく立ち上げました「議員特別党員」の第一回総会を開催しました。「議員特別党員」は、市町村議会議員の皆さんを対象とし、党員十名以上を集めた議員が「議員特別党員」となり、現在は、95名の「議員特別党員」が組織の拡充や党活動に日々ご活躍頂いております。

平成25年6月に開講しました「木国政経塾」は、塾生の中から、多くの政治家が誕生し、自民党議員として各地で活躍しています。

只今第三期を開講中ですが、大江康弘塾長の熱心な指導によって、ますます充実した内容になるように努力して参ります。

昨年11月16日東京・平河町のホテルで「人権課題解決に向けた和歌山県集会」を県内の自治体や国会議員などで構成するオール和歌山で開催し、二階俊博自民党総務会長に実行委員長を務めて頂きました。約400名が参加し、熱気に溢れた集会となりました。

集会は、稲田朋美自民党政調会長の講演、公明党の漆原良夫衆議院議員、民主党の小川敏夫参議院議員並びに部落解放同盟中央執行委員長の組坂繁之氏が挨拶を行いました。

この集会は、部落差別撤廃に向け個別法の制定をして頂きたいという強い思いで、全国に発信しました。決議においては、明治の解放令以来、150年も完全解決出来なかった部落差別を一刻も早く、解決することを決議いたしました。

次に、表彰関係についてであります。

「総裁表彰」及び本日の「県連会長表彰」の受賞者は、大会資料14～16頁に記載のとおりであります。表彰者の皆様に改めて平素の党活動に対し、敬意を表しますとともに心からお祝い申し上げます。

また、ここで誠に残念なご報告をしなければなりません。永年党をお支え頂きました宗正彦元県連幹事長、和歌山市連協の和田秀教元会長をはじめ、多くの方がご逝去されました。

故人となられた党员・党友の方々に謹んで皆様とともにご冥福をお祈りしたいと思います。

終わりに本日提案致します活動方針をはじめ、各議案につきましては、慎重なご審議を賜り、ご決定をお願い申し上げます。

会計監査報告

平成 26 年

前年度繰越金	81,687,082 円
収 入	92,899,416 円
計	174,586,498 円
支 出	109,607,830 円
平成 27 年へ繰越	64,978,668 円



監査報告

平成 26 年収支決算については、監査の結果、正確適正なることを認めます。

平成 27 年 3 月 4 日

自由民主党和歌山県支部連合会

会計監査

大田 貢 
中村 修史 

平成 27 年

前年度繰越金	64,978,668 円
収 入	103,211,353 円 (内パーティー収入 62,060,000 円)
計	168,190,021 円
支 出	80,046,900 円
平成 28 年へ繰越	88,143,121 円



監査報告

平成 27 年収支決算については、監査の結果、正確適正なることを認めます。

平成 28 年 2 月 26 日

自由民主党和歌山県支部連合会

会計監査

平 越 孝 哉 
大田 貢 

活動方針(案)

1. 参議院選挙並びに各種選挙に勝利し、地域の声に全力で応えよう。
2. 「世界津波の日」11月5日★防災・減災などの強靱化を推進しよう。
3. 2万人党員を目指し、組織を拡充しよう。
4. 政調・広報活動を強力に展開し、暮らしに一番近い政治を進めよう。
5. 議員特別党員、青年局・部、女性部、木国政経塾の組織を拡充しよう。

1、参議院選挙並びに各種選挙に勝利し、地域の声に全力で応えよう。

今夏の参議院選挙は、これからの日本の行く末を左右する重要な選挙であり、本県においては、選挙区の鶴保庸介参議院議員、比例代表の大江康弘元参議院議員をはじめ有為な公認候補全員を是が非でも当選させなければならない。

我々は、常に謙虚な姿勢で有権者一人一人と丁寧に接する心構えを忘れてはいけない。そして、地域の声に全力で応えるわが党の真価を発揮し、参議院選挙並びに各種選挙に勝利し、県民の暮らしを守る安定した政治基盤を固める。

2、「世界津波の日」11月5日★防災・減災対策などの強靱化を推進しよう。

近い将来、発生が予想される南海トラフ地震をはじめ、津波、豪雨、土砂災害などのあらゆる自然災害から一人でも多くの生命と財産を守るため、ハード・ソフト総動員の防災・減災対策やインフラ老朽化対策などの強靱化を推進する。

「世界津波の日」が11月5日に制定されたことを踏まえ、世界各国の防災意識の向上と防災教育の充実、実践的な防災行動の定着に向けて、和歌山県が世界の先頭に立って、防災意識を高めていく取り組みを進める。

3、2万人党員を目指し、組織を拡充しよう。

平成22年には、党員数が6,070名まで減少しました。その後、皆様方のご尽力のお陰で年々増加して、昨年は、16,176名となりました。

皆様方のご協力に、改めて感謝と敬意を表します。

党員の確保は、わが党の考えに強く賛同する「仲間」を増やしていくことが、組織を拡充することであり、党活動の基本であります。

本年は、2万人党員をめざして、選挙区支部、地域支部、職域支部、議員支部並びに友好団体と協力、連携し、組織の拡充強化に努めます。

4、政調・広報活動を強力に展開し、暮らしに一番近い政治を進めよう。

安全・安心で幸せな暮らしの実現のため、地域をはじめ社会の多様な政策要望を的確に捉えて、政治に反映させる政調活動は、政党の根幹をなすものであります。

厳しい選挙を勝ち抜くには、わが党の政策や姿勢を一人でも多くの県民に正しく理解してもらい、県民目線に立った分かりやすい情報の発信が欠かせません。又、日常的に政策課題を党組織の隅々まで届く、きめ細かい広報活動を展開する。

この度の「選挙権年齢 18 歳以上への引き下げ」に伴い、若年層への支持拡大を図り、選挙・政治への参加を促す取組みを進める。

主に、インターネットを活用した情報伝達や政策などを迅速に伝えるシステムを確立します。

- ① 街頭宣伝活動の積極的实施
- ② 選挙区支部との連携により党広報板の活用
- ③ 党機関紙「自由民主」「りぶる」の購読拡大
- ④ ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどの情報発信の強化

5、青年局・部、女性部、議員特別党員、木国政経塾の組織を拡充しよう。

青年局・部、女性部、議員特別党員、木国政経塾は、街頭活動、研修会、講演会などを中心に活発に活動しています。このことが、人材の発掘、育成に多大な成果を発揮しています。これからもこれらの活動を強化・充実し、組織の維持・拡大に努める。

決 議 (案)

わが党は昨年、立党 60 年を迎えた「政治は国民のもの」との立党の原点を心に刻み、今後も国民政党、責任政党として、国民と共に次なる時代を歩んでいく決意である。

政権復帰から 3 年がたった。その間、20 年近く日本経済を低迷させる原因となってきたデフレから脱却するため、わが党は経済最優先で取り組んできた。

本年、わが党は「一億総活躍社会」への挑戦を始める。

それは「女性も男性も、失敗を経験して再チャレンジする人も、障害や難病のある人も、誰もが活躍できる社会」「若者と子供は夢を持ち、お年寄りには安心感を持てる社会」「多様性の中からアイデアが生まれ、イノベーションが湧き起こる社会」をつくることである。

そして今、我々が改めて胸に刻まなければならないのは、日本の文化・伝統・国柄に立脚し「憲法改正」を党是として出発した保守政党としての矜持ではないだろうか。

以上の闘いを前進させるため、夏の参議院選挙と近く行われるであろう衆議院総選挙に、県連の総力を結集して、大勝利を目指すことをここに決議する。

平成 28 年 4 月 10 日

第 31 回自由民主党和歌山県支部連合会大会

各種選挙における公認・推薦候補者 当選者

(敬称略)

平成 26 年

- 4 月 27 日投票 海南市議会議員選挙
推薦 米 原 耕 司 ①
- 4 月 27 日投票 上富田町議会議員選挙
公認 吉 田 盛 彦 ⑨
- 8 月 10 日投票 和歌山市長選挙
推薦 尾 花 正 啓 ①
- 8 月 10 日投票 和歌山市議会議員補欠選挙
推薦 中 谷 謙 二 ①
- 11 月 30 日投票 和歌山県知事選挙
推薦 仁 坂 吉 伸 ③
- 12 月 14 日投票 第 47 回衆議院議員総選挙
公認 二 階 俊 博 ⑪ 三区
公認 石 田 真 敏 ⑥ 二区
公認 門 博 文 ② 一区 比例

平成 27 年

- 1 月 18 日投票 御坊市議会議員選挙
公認 向 井 孝 行 ⑧
公認 山 本 清 司 ⑦
公認 村 上 宗 隆 ③
公認 松 本 隆 史 ②
公認 松 屋 久 紀 ①

第 18 回統一地方選挙

- 4 月 12 日投票 県議会議員選挙
和歌山市選挙区
公認 井 出 益 弘 ⑨

公認 宇治田 栄 蔵 ⑧
公認 新 島 雄 ⑥
公認 山 下 直 也 ⑥
公認 尾 崎 太 郎 ④
公認 森 礼 子 ③

海南市・海草郡選挙区

公認 尾 崎 要 二 ⑧
公認 藤 山 将 材 ④

橋本市選挙区

公認 岩 田 弘 彦 ②
公認 中 本 浩 精 ②
無 中 西 峰 雄 ① 選挙後入党

有田市選挙区 無投票

公認 浅 井 修 一 郎 ④

御坊市選挙区 無投票

公認 中 村 裕 一 ⑧

田辺市選挙区

公認 泉 正 徳 ②
公認 鈴 木 太 雄 ②

新宮市選挙区 無投票

公認 濱 口 太 史 ②

紀の川市選挙区 無投票

公認 山 田 正 彦 ⑤
公認 服 部 一 ③
公認 岸 本 健 ③

岩出市選挙区

公認 山 本 茂 博 ③
公認 川 畑 哲 哉 ①

伊都郡選挙区 無投票

公認 堀 龍 雄 ①

	有田郡選挙区	無投票	
	公認	吉井和視	⑦
	日高郡選挙区	無投票	
	公認	富安民浩	⑦
	公認	坂本登	⑤
	公認	花田健吉	④
	西牟婁郡選挙区		
	公認	立谷誠一	②
	推薦	秋月史成	①
	東牟婁郡選挙区		
	公認	谷洋一	⑥
	公認	前芝雅嗣	④
4月26日投票	すさみ町長選挙		
	推薦	岩田勉	②
	和歌山市議会議員選挙		
	公認	宇治田清治	⑤
	公認	井上直樹	④
	公認	丹羽直子	②
	公認	中谷謙二	②
	橋本市議会議員選挙		
	公認	井上勝彦	④
	推薦	杉本俊彦	①
	新宮市議会議員選挙		
	公認	東原伸也	④
9月6日投票	有田市議会議員選挙		
	公認	浜口元司	⑦
9月13日投票	広川町議会議員選挙		
	公認	石原員馬	④
9月15日告示	かつらぎ町長選挙	無投票	
	推薦	井本泰造	②

総裁表彰者

(順不同・敬称略)

第82回 自由民主党大会 (平成27年3月8日)

◎優秀党員

かつらぎ町支部	門	三佐博
橋本市支部	向井	嘉久藏
紀伊田辺支部	大沢	広太郎
あおい支部	田辺	善彦
伏虎支部	後藤	まち子
伏虎支部	西端	和恵

◎優秀党組織

新宮支部
湯浅町支部

第83回 自由民主党大会 (平成28年3月13日)

◎優秀党員

紀の川市支部	藤範	信彦
金屋支部	若林	康信
伏虎支部	山縣	喜久子

◎優秀党組織

すさみ町支部
土地改良支部

優秀支部・党員表彰者 (順不同・敬称略)

◎優秀支部

湯浅町支部

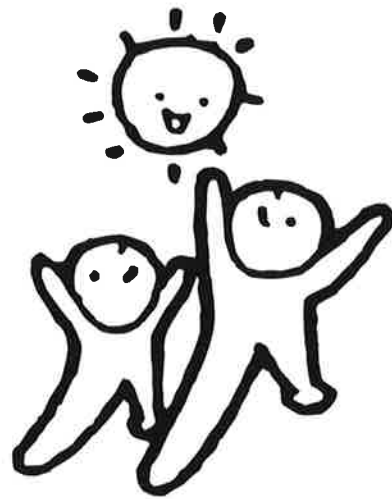
◎優秀党員

【地域支部】

和歌山市第十一支部	山浦裕一	
和歌山市第十二支部	臼井正夫	
和歌山市第十三支部	浅井瑛介	
紀北支部	岡野正敏	
伏虎支部	明石正乃	上土谷邦子
安原支部	松枝勉	
紀の川市支部	赤井美佐子	
高野町支部	別府治義	山下弘成
	上野山武志	
湯浅町支部	岡本善夫	
広川町支部	森利夫	
吉備支部	的場久	
金屋支部	若林康信	
清水支部	前北敏夫	
中津支部	信濃兵造	
白浜支部	大原誠	
那智勝浦町支部	向井彰悟	
太地町支部	筋師敬	
古座川支部	洞達廣	

【職域支部】

遺族会和歌山県支部	前田 艶子
和歌山県電気通信職域支部	丸尾 良彦
和歌山県土地改良支部	御前 一之
和歌山県歯科医師支部	平林 正樹
和歌山県看護連盟支部	木村 和子
和歌山県たばこ組合支部	福永 佐津子
和歌山県理容支部	山本 忠弘
和歌山県宅建支部	赤間 淳巳
和歌山県鍼灸マッサージ師支部	嶋 稔彦
和歌山県郵政政治連盟支部	宗 信宏
和歌山県柔道整復師支部	久保 重彦



自由民主党